



男女共同参画社会をめざす

ゆうレポート

REPORT

東京都北区男女共同参画センター情報誌

特集：北区パープルリボンマークが
決定しました

平成 23 年度

北区仕事と生活の両立推進企業を
認定しました

2012.2.29

No.24



(商標登録出願中)

東京成徳短期大学
学園祭（十条台）に
出展しました！



10月23日～24日、板橋区男女平等推進センターと共同でデートDV防止のための啓発展示をしました。2日間で計159人の方が来場し、パープルリボンを貼ってキルトを完成させたり、展示を見学したりしました。

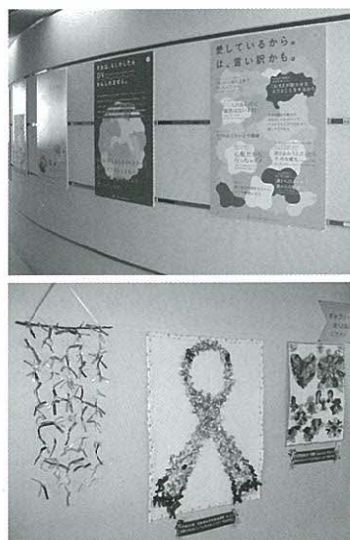


来ていただいた方に配布した北区手製のリボンバッジ

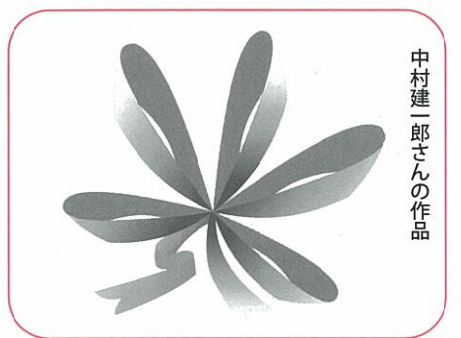
今後北区では、最優秀作品に選ばれたデザインをパープルリボンシンボルマークとし、女性に対する暴力をなくす運動を、みなさまにわかりやすくお伝えしていきます。

北とぴあを会場とし、一次審査の結果で得票数の多かった10作品を対象に行いました。審査員4名が、①テーマ性、②わかりやすさ、③デザイン性などについて評価し、最優秀作品1点と、優秀作品2点を選出しました。

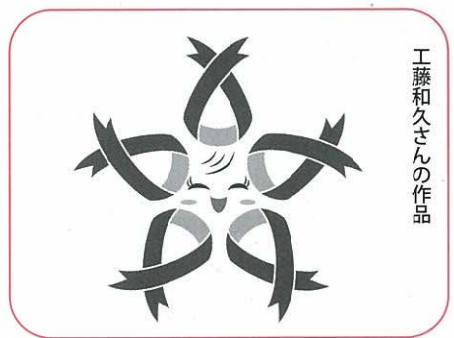
二次審査



シンボルマーク応募作品と併せて展示したDV防止啓発ポスター(写真上)、キルト等(下)



中村建一郎さんの作品

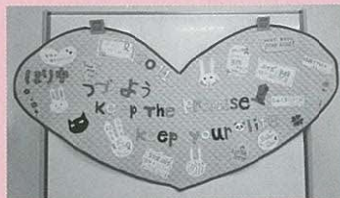


優秀作品賞
工藤和久さんの作品

ほかにもあります！ 北区で推進しているいろいろなメッセージリボン

レッドリボン
HIV／エイズの感染防止支援を
求める運動

北区保健所保健予防課
毎年12月1日の世界エイズデーにちなみ、日本でもさまざまなエイズ予防や患者支援のためのキャンペーンが行われます。北区保健所では原則第1・第3月曜日午後1時～2時にエイズの原因となる HIVウイルスの検査を無料で実施しています。 ☎03-3919-3101



区内の中学生が制作したレッドリボンキルト

ピンクリボン 乳がんの早期発見・早期診断・
早期治療の大切さを伝える運動

北区健康福祉部健康いきがい課各健康相談係
毎年10月のピンクリボン月間に、乳がん予防講演会などのイベントを開催したり、自己検査に役立つ補助用具を商店街で配布したりしています。
☎03-3908-9087

オレンジリボン 子ども虐待防止運動

北区子ども家庭支援センター(育ち愛ほっと館)
毎年11月の児童虐待防止月間に合わせ、子ども家庭支援センター「育ち愛ほっと館」でのパネル展示、リーフレットや啓発グッズの配布をしています。
☎03-3912-1894

お気軽にご相談ください

スペースゆう 相談室
こころと生き方・DV相談 (対象：女性 面談50分、電話30分)
男性のための悩み相談 (夫婦や家族問題など・電話相談30分に限りです)
秘密厳守します。開室日・時間はお問い合わせください。 ☎03-3913-0161 (予約制)

北区パープルリボン
シンボルマークが決定しました

最優秀作品賞



房本勝幸さんの作品
(表紙掲載)

北区では、DV(配偶者からの暴力)をなくす運動の一環として、パープルリボン運動を推進しています。多くの方々にパープルリボン運動について知っていただけるよう、このほど、「パープルリボンシンボルマーク」を一般公募し、決定いたしました。

たくさんの作品を応募いただきました

9月1日(木)～10月13日(木)までの1ヶ月半ほどの募集期間に、北は青森県から南は広島県までの全国の方々から作品が寄せられ、応募総数は30作品を数えました。
また、女性からは16作品、男性からは14作品、年齢としては、6歳～76歳という幅広い層から寄せられました。

北区では、このほど「パープルリボンシンボルマーク」を一般公募しました。デザインを広く全国から一般募集することで、より多くの方々に、女性に対する暴力をなくす運動についての認識を深めていただく機会となりました。
最優秀作品賞には、大阪府大阪市の房本勝幸さん(60歳)の作品が選ばれました。やさしさのハートと幸せのクローバーをパープルリボンで囲み「女性に対する暴力をなくすための運動」を全体で描いています。とてもほっとするデザインで、多くの方々に覚えていただけることでしょう。
優秀作品賞には、青森県弘前市の工藤和久さん(46歳)、千葉県松戸市の中村建一郎さん(19歳)が選ばれました。



パープルリボン
とは？

パープルリボンは、女性への暴力をなくそうという思いを込めたメッセージリボンです。パープルリボンを身に着けたり、紫色のリボンを使ったモチーフを身の回りに置いたりすることで、ひとりひとりが暴力のない世界を望む気持ちを表現できます。



ギャラリー遊での展示の様子

応募作品は平成23年10月27日(木)～11月27日(日)までの1ヶ月間、北とぴあ6階のスペースゆう「ギャラリー遊」で展示し、区民などによる一般投票を行いました。
投票は、投票用紙に作品番号を記入する方法で、投票用紙は、1人につき1枚限り、1作品の番号を記入していただきました。
投票期間中に寄せられた全体の投票数は203票でした。この投票で、もともと投票数を集めた作品は33票でした。この一般投票をパープルリボンシンボルマーク審査における、一次審査とさせていただきます。

応募作品の展示・投票(二次審査)
「あなたの胸にパープルリボンを」

平成23年度

北区仕事と生活の両立推進企業を認定しました

みなさんは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）という言葉を知っていますか？

ワーク・ライフ・バランスのとれた生活とは、「仕事」と子育てや介護、地域活動等の「仕事以外の生活」が両立でき、双方が充実している状態のことをいいます。このためには、これまでの働き方を見直し、時間の使い方を自己管理していくことがポイントです。

ワーク・ライフ・バランスが実現すれば、区民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、子育て期、中高年期といった人生の各段階において多様な生き方が選択できるようになります。

北区では、仕事と生活の両立支援や、男女がともに働きやすい職場環境づくりに取り組む中

小企業を「仕事と生活の両立推進企業」と認定し、その取り組みを応援する制度を平成22年度より始めました。

このたび、平成23年度「北区仕事と生活の両立推進企業」2社を認定しました。第2回認定式を、平成23年11月15日、北区役所庁議室において執り行い、区長より認定証を授与いたしました。

なお、平成24年度の「仕事と生活の両立推進企業」の募集は、北区ニュース等でお知らせいたします。

問合せ先 北区子ども家庭部男女共同参画推進課
☎03-39133-0161

<http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/590/059063.htm>



左から(株)日乃本錠前：坂井経理課長、江口常務取締役、花川北区長、山本暖冷工業(株)：山本社長

北区仕事と生活の両立推進企業認定制度

1 対象となる企業

- (1)区内に事業所を置き、常時雇用する従業員数が300人以下の企業で、かつ区内に本社又は主たる事業所を置く中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条に定める中小企業者であること。
- (2)労働関係法令が遵守されていること及びその他の法令上又は社会通念上認定するにふさわしくないと判断される問題を起こしていません。

2 対象となる取り組み内容

- (1)仕事と子育て・介護の両立支援に取り組んでいる。
- (2)男女ともに働きやすい職場づくりに取り組んでいる。
- (3)従業員が地域活動等に参加しやすい環境づくりに取り組んでいる。

3 認定期間

認定決定日から平成30年3月31日まで

4 支援内容

- (1)イメージアップ・PR支援
- (2)区ホームページ・北区ニュースで認定企業の取り組みを掲載。
- (3)区が発行する関係情報誌で、認定企業の取り組みや活動紹介を掲載。
- (4)認定企業パスルを男女共同参画センター「スペースゆゆう」のギャラリーで掲示。
- (5)経営支援
- (6)区中小企業金融制度の対象とする。
- (7)求人等企業広告掲載料の補助を行う。
- (8)ワーク・ライフ・バランスに関する研修等で男女共同参画センター「スペースゆゆう」多目的室・フナタリウムホールを使用するにあたり、使用料を5割減額する。

株式会社 日乃本錠前

北区西ヶ原1丁目19番19号

卸売業・小売業
・靴・スーツケース類の錠前及びキャスト等
の付属パーツ開発

創業 昭和7年

従業員数65名
(女性 13名)
(男性 52名)

和して厳しくの精神を大切に
夢のある会社づくりを目指す

主な取り組み

- ・定時退社日の実施
- ・育児休業・介護休業の環境整備及び社員への周知・勧奨
- ・社内提案制度を設け、業務改善推進
- ・メンタルヘルスへの取組
- ・地域貢献・ボランティアへの参加

◎代表者コメント

北区仕事と生活の両立推進企業に認定して頂き、誠にありがとうございます。

当社では、毎週木曜日の定時退社日の実施、育児休業・介護休業の環境整備及び社員への周知・勧奨等を行って参りました。

この認定を機により働きやすい職場づくりを進めて参ります。



山本暖冷工業株式会社

北区滝野川3丁目42番11号

建設業
・衛生・空調設備工事

創業 昭和44年

従業員数14名
(女性 4名)
(男性 10名)

みんなで努力・みんなで安心

主な取り組み

- ・一般事業主行動計画の策定
- ・子の看護休暇導入・育児休業延長可能
- ・小学校入学前までの短時間勤務制度
- ・各種研修や教育訓練への男女同一機会付与と費用負担
- ・地域貢献・被災地支援

◎代表者コメント

社員やその家族が充実した生活を送れるように取り組んできたことが仕事と生活の両立推進企業として認定して頂き嬉しく思います。

これからも声をかけ、話を聞いて、社員が安心して働き、意欲向上につながるような環境を整えていきたいと思っております。



講座レポート



パパとお子さんのクッキングの様子

子育て支援課共催事業 男性の育児参加応援プロジェクト 北区イクメン講座

(赤羽地区/王子・滝野川の2地区で9月~2012年2月にかけて3回連続で実施)
 講師: 第1回 相澤菜穂子さん 第2回 宮島道信さん 第3回 久留島太郎さん
 お子さんが2歳以下と3歳以上未就学児のクラスに分けて実施 各回平均約15名参加
 1回目は小さなお子さんも楽しめる料理づくり、2回目は家にある材料を使ったおもちゃの制作、3回目は父と子で体を使っての遊びをしました。どの親子もめいっばい楽しんでいました。3月18日には参加者とその家族を対象に講演会とコンサートが開催されます。

女性のためのセルフディフェンス講座

第1回 11月12日 護身術①心が身を守る 講師: 松尾奈々さん 38名参加
 第2回 11月19日 護身術②心が心を守る 講師: 橋本明子さん 午前・午後計30名参加
 第3回 12月3日 防犯術 知識で身を守る 講師: 平塚俊樹さん 27名参加
 自分に備わっている力や知恵を生かし、身を守る術や防犯のコツを実践で学びました。参加者からは、「知っているようで知らないことばかりだった」「いざという時に役立つ情報を得られた」という感想が聞かれました。



松尾奈々さん



橋本明子さん



平塚俊樹さん



DVのない社会へ 傷ついた心に暖かな陽だまりを

第1回 11月17日 DVが子どもの心と体に与える影響~親としての対応~ 講師: 松本和子さん 14名参加
 第2回 11月24日 あなたへ「ほめ言葉のシャワー」 講師: 水野スウさん 7名参加
 第1回はDV(配偶者からの暴力)が子どもの心と体に与える影響を知る講義、第2回はDV被害を受けた人が自信をとりもどすためのワークを実施しました。各回とも講座終了後にチェロの演奏会があり、参加者は落ち着いたひとときを過ごしました。

ひとり親応援講座

親子の生活を笑顔で乗り切るコツ

第1回 12月11日 講師: しんぐるまざあず・ふぉーらむ会員 3名参加
 第2回 12月18日 講師: 東京都ひとり親家庭支援センターはあと飯田橋相談員 5名参加
 親子が笑顔で日々を過ごすコツや、就職活動の具体的な進め方などについてのお話をうかがったり、参加者同士で情報交換をしたりしました。



しんぐるまざあず・ふぉーらむの会員



ひとり親家庭支援センターはあと飯田橋相談員

職業教育キャラバン事業



11月8日 滝野川紅葉中学校
 講演: シンクロ競技指導者
 金子正子さん



11月14日 王子校中学校
 講演: パイロット
 小田嶋良さん

中学生や高校生の皆さんが、今後あらゆる分野の職業に明確なイメージをもってチャレンジできるよう、さまざまな分野の第一線で活躍なさっている女性講師による講演を実施しています。北区出身の金子さんからは、シンクロ競技やオリンピックの興味深いお話を、小田嶋さんからは、パイロットになるためにいかにあきらめずに努力したのか具体的なお話をうかがいました。



シュガークラフトづくりの様子



Crescentの狩野章子さん(左)と猪野典子さん(右)

パートナーシップ事業(区民企画講座) 子育てママ応援塾 企画・運営 スマイル・ママの会

第1回 10月7日 おうちサロンという選択 講師: ベビーマッサージ・リフレクソロジー・メイク・シュガークラフトの講座を自宅で開いている女性 19名参加
 第2回 10月23日 ジャズ&ポップス 星空コンサート
 演奏・歌: Crescent 会場: プラネタリウムホール 85名参加
 第1回は、家庭と仕事を両立させ自分らしく輝いている...そんな講師たちをご紹介。何気なく参加した方も「家でジッとしては始まらない」と感じたそうです。また、当会でぜひ講座講師をやりたい! とご連絡を頂き、いくつか実施済みです。新しいつながりに感謝です。第2回のコンサートは、親になっても自分の時間・感性を大切にクールな雰囲気な企画として楽しんでいただきました。(スマイル・ママの会代表 内海千津子さん)

パートナーシップ事業(区民企画講座) 女性の視点で読み解く 企画・運営 参画ネット・ノースヴィレッジゆう



上野千鶴子さん

第1回 10月8日 上野千鶴子さんが語る、日本文学とは 41名参加
 第2回 10月15日 大沢真理さんが語る、働くこととは 31名参加

『新編日本のフェミニズム』の「4巻 権力と労働」「11巻 フェミニズム文学批評」を素材に、労働分野と文学分野における課題は何かについて講師から話を聞きました。書き手と読み手のジェンダー(社会的性別)を意識しながら文学を読み解く重要性について解説された上野さん。データを提示しながら実態としての不平等を説明なさった大沢さん。今後私たちがどのような社会をつくりたいかを考える機会となりました。(参画ネット・ノースヴィレッジゆう)



大沢真理さん

実践! ストレスマネジメント術 ~自分も周りも楽になる~

10月29日 講師: 正木智子さん 30名参加
 「ストレスマネジメント」という表題を見て、難しく暗い話かと思っていましたが、正木さんの説明が分かりやすかったこともあり、普通に日常生活の中で対処していることが整理・確認できて、納得しました。「ストレスは人生のスパイス」と受けとめられるよう、いろんなストレスに正面から向き合うことが大事だと思いました。(ボランティアスタッフ 筑紫建彦さん)



正木智子さん

ネットワークを生かして次へのチャレンジ!! 先輩キラ☆リストに学ぶ

第1回 11月20日 多様な企業活動をとおして 講師: 鈴木純子さん(女性就業支援センター共催事業) 7名参加

「これから新しい時代、“前列がない”と言わずポジティブ思考でいきましょう」との講師の一言が印象的で、気づきのある一日となりました。(ボランティアスタッフ 宮崎美嘉子さん)

第2回 11月27日 コミュニティカフェをオープン 講師: 稲邑恭子さん 8名参加

スペースナナ(カフェ)設立の経緯、コンセプトや資金面等のお話をうかがいました。何か始めるにはともかく走り出すということと、仲間が大切ということが心に残りました。(ボランティアスタッフ 室孝子さん)



鈴木純子さん



稲邑恭子さん

50代からのモノと思考の整理術 ~「片付けられない」悩みから自由になる~

11月30日 講師: かわさき真知さん 43名参加
 7月の講座が好評だったため、今年度2回目の開催となりました。

参加者からは、「モノの整理の話はよく聞かすが、思考の整理の話は初めてだった」「モノを捨てるのではなく“選ぶ”ことが大切だとわかった」「片付けが女性だけの仕事でないと知りほっとした」などの感想が寄せられました。



かわさき真知さん

スペースゆうからのお知らせ

平成23年度北区さんかく大学

現代社会の貧困～男女共同参画から考える～

国際的にみて豊かといわれている日本の「貧困問題」の現状について考えます。

第1回 1月25日 (終了)

「国の政策と貧困」～市民活動の中から見えてくる貧困～

講師：湯浅誠さん(内閣府参与)

第2回 2月8日 (終了)

「データから見る貧困」～社会保障制度をデータから検証する～

講師：阿部彩さん(国立社会保障・人口問題研究所社会保障応用分析研究部長)

第3回 2月22日 (終了)

「女性とホームレス」～ホームレス支援から見える現状～

講師：野依智子さん(国立女性教育会館研究国際室研究員)

第4回 3月7日

「子どもの貧困」～地域でできる取り組み事例～

講師：湯澤直美さん(立教大学福祉コミュニティ学部教授)

- コーディネーター(全回) 菊池靖子さん(元清瀬市男女共同参画センター長)
- 各回水曜10:00～12:00(開場9:45) 定員40名 保育:定員あり
- 申込み・問合せは、電話/ファクス/E-メールでスペースゆうへ

プラネタリウムプログラム ★一般投影(月2回日曜)

3月4・18日「春の銀河」 4月8・15日「金星」(予定)

■各日13:30～、15:30～の2回(各約1時間)

■料金 おとな500円、子ども(4歳～15歳)200円

(申込不要・開演30分前よりチケット販売・当日直接会場へ)

平成24年度前期 (4月～9月)

「ギャラリー遊」展示者が決まりました

各展示の詳しい日程等は北区ニュースやエンジョイ北区でお知らせします。ぜひお越しください。なお、後期(10月～3月)の募集につきましては、5月ごろの北区ニュースに掲載される予定です。

	展示者名	内容
4月	藤原友己	絵画、クラフト
	北区男女共同参画推進ネットワーク	パネルなど
5月	北きり絵・あじさい	切り絵
	赤羽エコー広場 絵てがみ描こう会	絵手紙
6月	スペースゆう	参画週間特集
7月	天随会水墨画教室	水墨画
	ドリームヴィ書道クラブ	書道
8月	あらかわ学会写真委員会	写真
	北区水彩画会	水彩画
9月	Quiltsっこクラブ	布作品
	写真集団かぜ	写真

スペースゆうのお薦め図書

スペースゆうの情報コーナーでは、男女共同参画や自分らしい生き方に関する資料を揃えています。ぜひお立ち寄りください。

「主婦パート 最大の非正規雇用」

本田一成/集英社/2010

主婦パートという雇用形態は、家庭にも企業にも都合のよい頑強なサイクルを形成してきた。だが、筆者は、「パート基幹労働力化」が進み、正社員並みの労働負担を強いられる中、「主婦パート・ショック」が発生しかねないと警告する。



「ひとりでも安心して暮らす方法 最期まで思いっきり人生を楽しむコツ」

松原惇子/大和書房/2011

これからは誰もが「ひとり老後」をむかえるかもしれないといわれる時代。そんな中、自分らしさを見失うことなく、安心感を持って明るく生きていく術を教えてください。



男女共同参画センター「スペースゆう」へ来てみませんか

所在地 〒114-8503 北区王子1-11-1 北とびあ5・6階

TEL 03-3913-0161

FAX 03-3913-0081

男女共同参画センター 北とびあ6階
スターロードからお入りください。



・東京メトロ南北線王子駅5番出口直結 ・JR京浜東北線王子駅北口徒歩2分
・都電荒川線王子駅前徒歩2分

今回表紙を飾った北区の女性への暴力防止運動のシンボルマーク。広く一般に使われているパープルリボンを基調としながら、手前味噌かもしれないが、やさしさと温もりを与えてくれるデザインで出来栄も中々。リボン運動には、ほかに子ども虐待防止のオレンジリボンなどいくつもあつた。リボンを身につけ、自らがその問題に理解と支援を示すと共にその問題を多くの人に伝えるのが目的。今、配偶者暴力を取り巻く課題は多い。しかし、一歩一歩前に進まなければならない。その支えは人のつながり、それがセーフティネット。リボンはそれらを結ぶ象徴と感ずる。これから、多くの区民の方に北パパーブルリボンシンボルマークを知ってもらい、配偶者間暴力の問題について関心と理解をより深めてもらうため、私もさらに努力をしなければならない。(K・N)

編集後記